

サポートJOYO



京都府立城陽養護学校地域支援センターだより

平成20年度
第3号

<相談問い合わせ先> 京都府立城陽養護学校 地域支援センター「サポートJOYO」

〒610-0113 京都府城陽市中芦原1-4 TEL 0774-53-7100 FAX0774-53-4044

ホームページ <http://www.kyoto-be.ne.jp/jyouyou-s/>

(E-mail jyouyou-s@kyoto-be.ne.jp)

「特別支援教育研修会」への御参加ありがとうございました

今年の参加者は約350名、充実した研修会になりました！

城陽養護学校では地域の皆さんと共に特別支援教育について研修を深める機会として、毎年夏に「特別支援研修会」を開催しています。昨年度からは、文化パルク城陽を会場にして、より多くの方々に参加していただけるよう開催してきました。

今年のテーマは

「地域で出会った気がかりな子どもたち」

～心理的課題や発達障害のある子どもへの豊かな関わり～

小中学校・高校・幼稚園・保育所・特別支援学校の先生方に加え、医療現場や保健所、地域の障害者支援センターの職員の皆さんなど約350名の御参加をいただきました。このように多くの御参加をいただきましたことは、地域における特別支援教育への関心の高さや、取組の広がりと共に、幼児期から社会的自立まで、長いスパンに立った支援の継続の必要性を感じるところです。



コメンテーターの先生方

活発な御意見ありがとうございました！

洛西愛育園園長 高木恵子先生の基調講演をもとに、本校校医 有賀やよい先生をコーディネーターとして、パネルディスカッションを行いました。相楽地域障害者生活支援センター所長 傍島規子先生や、学校現場の代表として城陽市立城陽中学校特別支援教育コーディネーターの衣川一成先生など各方面からのコメンテーターに加え、会場からも参加者の方に発言していただきました。それぞれの実践を出し合いながらとても活気のある研修会になりました。



会場からもご発言をいただきました。

☆ 参加者のアンケートから

<今回の研修の内容について>

とても勉強になりました。不登校傾向の生徒のこと、ADHDと思われる生徒のことなど、事例を挙げてサポートの仕方など伺ってみたかったです。今後の機会にお願いします。

こういう研修会に行くとテーマのズレ（乳幼児にあてはまらない）を感じることもあるが、今回はそれを感じることなく、とても分かりやすかった。今関わっている子の将来を考えるきっかけになった。保護者にも返していきたい。

<基調講演について>

高木先生の話は楽しく、また感動するものであった。私が自分のやる気を工夫していくことで、少しずつでも子供達が過ごしやすくなってくれるよう2学期からがんばろうと思った。パワーをもらった。



「子どもの困り感がわかれば、手だてが考えられる」という視点を大切にして、支援していこうと思った。

障害のある子どもだけでなく、すべての子どもたちに対する指導者の心構えの話であり、改めてうなずき、初任者の気持ちに立ち返ることができた。

<パネルディスカッションについて>

パネルディスカッションでは事例に対して先生方の返答が具体的で分かりやすかった。具体的に実践できるものもあり役立った。事例をもっとあげて欲しい。

パネルディスカッションは大変よく企画されていて、フロアからの発言もかみ合い大変有意義な学びであった。

<就学前から社会自立まで・連携について>

乳児期から成人、就学までの人の人生として長いサポート、支援の大切さ、課題を勉強できてよかった。

有賀先生の熱く語ってくださった内容は、分かりやすく参考になりました。もっとお話を聞きたかったです。

成人になってからの支援について考えたことがなかったので、すごく勉強になりました。幼稚園で子供たちとの関わりにつなげられそうです。

京都府全体を見ると色々なサポートセンターがあることがよく分かった。新しくできたものについては情報収集が必要と思った。

